

授業参観＋講演会型＋サロン型（中学校）

学校名等	養老町立東部中学校
実施日時	平成28年10月14日 午後
会場	養老町民体育館
参加人数	43名
学習課題（分野）	情報モラル+家庭でのコミュニケーション
運営者の願い	本校では、情報通信機器の所持率は98%と高く、30%の生徒が1日に2時間以上をインターネットへのアクセスに費やしている。また、約6%の生徒はSNSで知り合った「友だち」と実際に会っている。さらに28%の生徒が「インターネットアクセスでの家族のルール」がないと回答している。このような現状を踏まえ、インターネットの光と影を知り、家族でどう向き合うかを話題にするべきだと考えた。

学 習 の 内 容

<生徒会による情報モラル宣言の確認>

平成26年に「自分たちの力で自分たちを守ろう」と、情報モラル宣言を行った。講演の前に全生徒と保護者の前で確認を行った。

『守ろう！！あなたとわたしの情報モラル』

- ① 22時以降は情報通信機器を使わない
- ② インターネットを通じて知り合った人とやりとりしない
- ③ 個人が特定できる画像や動画を載せない
- ④ 人の悪口を書き込まない

情報通信機器に対する自分たちの姿勢を確認した上で、講演を聞いた。

<NTTによる情報講話（スマホ・ケイタイ安全教室）>

・インターネットの特徴について

生活を便利にするものであるが、個人の特定や情報の拡散など、危険な面もあることなど

・SNSに関する具体的な危険事例の紹介

- 誹謗中傷や仲間はずれによるいじめ行為
- 写真掲載による個人情報の特定
- SNSをきっかけとしたストーカー行為

・情報通信機器への向き合い方について

- フィルタリングや親子でのルールづくりなどの大切さについて
- 相手の気持ちや立場を思いやることの大切さについて
- トラブルに遭った場合にはすぐに大人に相談することの大切さについて

<子育てサロン（家族での親子のコミュニケーションを考える）>

家族で情報通信機器に関わって、どんな話し合いができているか、その他親子間でのコミュニケーションをどのように図っているか、といったことについて、グループに分かれて話し合った。

<アンケートより>

- ・スマホネグレクトという言葉にドキッとしました。軽い気持ちで「ちょっと待って」と言っていますが、子どもは傷ついているかもしれないということに気づかされました。
- ・子どもに通信機器を持たせた方がよいのか悩むところだと思いました。子ども自身がしっかりと理解して使い方が分かるようになったら持たせてもよいのかなと思いました。今日の話はとてもよく分かりました。
- ・子どもは毎日「お母さん、あのね」と声をかけてきます。その時私は「ちょっと待って」などと言っています。今日の時間をもったことで、考えさせられる事が多くありました。少しの時間でも、子どもの話に耳を傾けてあげたいです。
- ・親子のコミュニケーションを保つには、常に子どものことを思って、話してくれたことに笑顔でうなづくなど、にこやかに話を聞きたいと思いました。



親子で情報モラル宣言の確認をしたり、講演を聞いたりしたことで、生徒と保護者、学校が共通歩調で取り組む環境が整った。



子育てサロンで、保護者がざくばらんに悩みを相談したり、先輩保護者から学んだりして、よりよい家庭内のコミュニケーションのあり方について考えることができた。